

2022年(令和4年)
第850号

11月

編集及び発行人:
東京土建一般労働組合
杉並支部
杉並区高円寺南3-6-2
TEL(3313)1445
FAX(3313)7096
メール doken-suginami@mx10.ttcn.ne.jp
定価1部50円(購読料は組合費に含む)

●建設業に働くみなさんの仕事とくらしを応援します

すぎなみ

支部会館休館のお知らせ

下記日程は支部会館を休館します。
12月2日(金) 終日 書記局会議
土・日・祝日も休館

無料経営相談会

11月17日(木) 10時~12時
12月15日(木) 10時~12時
(要予約)

岸本さところ長に東京土建まつりのチラシも渡して懇談



10.26 区長と懇談

アスベスト調査への助成へ 住宅リフォーム助成も 前向きな姿勢

10月26日、組合からは鎗田委員長はじめ7人、区からは区長と経理課長が参加し、2回目となる岸本さところ区長との懇談をおこないました。区長からも公契約条例はじめ多くの議題で質問が相次ぎ、当初30分の予定が約一時間の懇談となりました。

消費税インボイス制度では区長からも区でできることを模索しているとの話がされました。

物価高に対する杉並区独自の助成制度の要望には、今以上の制度拡充は「難しい」との話もありましたが、リフォーム助成など区民と事業者にもメリットのある制度の拡充へ、住宅課の意見も聞き議会でも検討していきたいとの前向きな返答。アスベスト調査・除去費用については公約どおり必ず制度を創設するとの力強い返事でした。

来年4月23日は区議選の投票日。区民のための区政実現には区議を監視し投票するのも大切です。

岸本区政で既に実現した新政策

- ①4月にさかのぼって給食費の減額
- ②区長公用車アルファードの廃止(契約満了までは複数職員が移動するときに活用)
- ③区民の声を聞く...「聴くくオフ・ミーティング」や「さとことプレスト」など、区民の区政への第一歩

秋の拡大月間 全分会が 目標達成

組合の仲間の輪さらに 助け合いの力もそれ以外の力も



配信元の支部会館側



感謝の夕べでの高和分会

【角田幸司組織部長】8月下旬から取り組んだ秋の仲間づくり月間も10月31日で終了しました。みなさんのご協力のおかげで、春に続き目標を上回る140人の新たな仲間の賜物です。

11月当初の支部人員は1月当初人員まで30人に迫る3、175人です。建設業従事者全体が減少する中でこの到達は、仲間のみなさんのご奮闘の賜物です。

2022年 秋の月間

月間加入目標:129人
加入:140人

【超過達成分会】阿佐谷・浜福
【達成分会】井荻・西荻・富士見・中央・高和・泉南

月間では、東京土建国保に魅力を感じて再加入した方や資格講習で加入した方がいました。今後は、月間で分会ごと旅行やレク、若手交流会などさまざまなイベントをおこなって深めた交流をさらに広げ、仲間を増やし、支え合いの力も強めていきましょう。また12月1日夜に新加入者歓迎会をおこないます。組合をうまく活用する第一歩です。ぜひ声をかけ合いご参加ください。

加入理由はさまざま その後のつながりを

新加入者歓迎会

12月1日(木) よる7時~

場所 支部会館3階

8月~12月の新加入者と紹介者などが対象です(個別にご案内も送ります)。

今月の紙面から

2 防災セミナー ドローン学習会

防災セミナーとドローン学習会を開催。その内容を紹介します。

3 11月に土建まつり

11月27日に、支部最大のイベント東京土建まつりを3年ぶりに開催します。

3 くだばれインボイス

零細業者・フリーランスの死活問題、消費税のインボイス。まだ止められます。トークイベントのご案内。



支部のホームページはこちら

https://www.doken-suginami.org/shibu/index.html

東京土建杉並支部

検索

11月27日(日)は杉並第十小&蚕糸の森公園へ



建前ミニ上棟式もやります



ご家族、ご近所の方にも声をかけ、大勢のご参加で盛り上がりましょう。

支部50周年記念行事の一環として2000年秋に第1回のまつりを開催してから20年以上。完全に地域に定着した、支部最大のイベントです(70周年誌70~71ページ、QRコードも参照ください)。新築を祝う建前・上棟式を模した餅まきを2004年から始め、ジャンボ工作教室に加えて左官や塗装体験や重機の運転体験などもおこなうようになり、建設業ならではのイベントに発展しています。今回、食べ物キッチンカーに任せることになり、分会の仲間は建設ならではの企画にさらに集中する予定です。

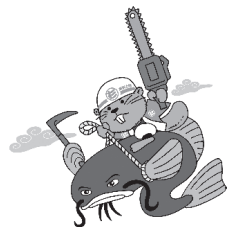
父も勝ち取った土建国保を(伊藤和則・常任執行委員)

集まるっしょー!3年ぶり 東京土建まつりに

とき 11月27日(日) 午前10時~午後3時
会場 杉並第十小学校グラウンド&蚕糸の森公園(東高円寺駅徒歩1分)
11月27日(日)、3年ぶりに東京土建まつりを開催します。

▼私は工務店をやっていますがウッドショックはまだ終わっていません。材料のなかには5割増しにもなっているものもあります。ほかの物価も上がります。今年1月には115円だった1ドルが10月には150円の大台に乗る円安ドル高も。どうなっているのやら。▼コロナもまだ収束したようには見えません。▼暗い話ばかりのところ、なんと国は保険証の廃止、マイナンバーカードの事実上強制まで言いだしました。▼健康保険の制度は続けるといいますが、保険証がなくれば東京土建国保での仲間の結びつきも減ります。土建の危機です。そのうえ国は健康保険制度すべての二元化とその先に廃止を狙っているのです。▼私の父・重則は組合の初期からの組合員で、仲間の運動で土建国保や今の制度を勝ち取ってきました。その成果を守り、未来の仲間たちにも引き継いでいかなければなりません。▼庶民いじめのインボイスも中止させる、そういう運動をしていきましょう。





10・21 防災セミナー

平素の備え家具固定から

10月21日(金)の19時から支部会館で東京防災学習セミナーを、まちの救助隊ヒーパースの活動として開催。27人が参加し、首都直下地震への備えに関する講演DVDを視聴し書籍『東京防災』も引きながら学びました。そのポイントは…

首都直下地震

M7クラスの内陸型地震は200〜300年に4〜5回。いつ起きてもおかしくない。

①直接死…

家具の下敷きや火災からの逃げ遅れ。

②災害関連死…

震災当初は生き延びても肉体的・精神的負担と心疾患やケガから認知症悪化、孤独などから死に至る(熊本地震では死者の8割が災害関連死)。

肝心な心構え



【吉田康典・ビーバース隊長】まず自分がケガをしないこと。そして身の回りの人から助けていく、そのためには家具の固定や飲食物・トイレの備蓄など、日常の備えが大切です。この機会に改めて自分の備えを見直してみてください。

3つの対策

①耐震補強…

せめて寝室だけでも。

②出火防止…

感震ブレーカーが有効

③家具の固定…

L字金具が基本。つっぱり棒は傾斜板や天井補強とセットで。

④トイレ…

これで自宅での避難生活が可能。災害関連死のリスクが大幅減少。自分たちで災害の前に行える対策である。

在宅避難への備え

①水…

飲用だけで1日に3リットル必要。生活用水は必要。

グッズの活用

まず「落ち着け」と自分に言い聞かせる。家にある『東京防災』も読み返して。



真剣に考えることが大切

モニターを見ながらの学習



火災共済・地震共済

金銭面でも備えよう

【倉田文男厚生文化部長】家具の固定や住宅耐震補強などは被害を予防するための対策ですが、被害が生じた時の生活再建のための金銭的な備えもしておきましょう。

台風被害での風水害は火災共済で保障がかけられます。地震に起因して発生した火災被害は「火災共済」は対象外ですので、地震共済の加入が必要です。

補償500万円あたりの年掛金は

火災…(木造)	3,000円	(鉄筋)	1,500円
地震…(木造)	16,500円	(鉄筋)	10,000円

旧事務所で点検の実演(棟にドローン)



ドローンの有効性と弱点

いま流行のドローンは垂直方向への移動・安定性に富み、撮影、点検では極めて有効。一方で重力に抗い続けるため、大型化や重量物の輸送は苦手。風雨にも弱い。

10.23 ドローン学習会 38人参加

安全な高所点検や補修が可能 今のうちに資格取得しては



室内で飛行体験

10月23日(日)38人の参加で、ドローン学習会をおこないました。午前中は、支部会館3階で座学でした。赤外線カメラと可視光カメラを用いることで雨漏りや断熱効果、家屋調査や老朽化インフラ、太陽光発電施設の故障スポット、農地・山林の状態管理、農薬散布などに有効であるとの説明を受けました。また、大規模な修繕には向かないけれど、外壁の破損箇所を見つけ、ロープ作業でその部分だけを修理するような工法にはびつたりであること、実際に修理作業ができる職人自身がドローンを操作できることが、施主の信頼を得ることにもつながることなどの説明がありました。

午後には3機のドローンを使い、参加者全員が短時間ながら、実際に産業用ドローンを操作。その安定性に驚きました。

その後、旧事務所に移動し、屋外での実演飛行しているドローンからリアルタイムに送られる画像をパソコンで確認した仲間たちからは、「想像していたよりずっとすごい」「こんなに安定していると」と驚きの声があがりました。

便利なドローンですが、飛行にはライセンスが必要。今年の12月からは国家資格ができる予定。今のうちに資格をとると優遇の可能性あり。支部に相談を。

防災士が語る 災害と防災

青木隆之 防災士



防災の視点から 路(道)について 考えよう

今年も大きな爪痕を日本中に残した台風がやっとなり、気象災害には安堵していた方も多いと思います。しかし、あれよという間に寒気と乾燥した日が続く季節に。私のところに行く雨漏りの相談は減ってきたものの、今度は火災が心配です。木造密集地域の多い杉並ではなおさらです。大きな火災が起きないよう、個々の注意もまた防災の大きな役割です。ご自宅での初期消火のため、キッチンなどの近くには消火器の備えをお願いいたします。ポータブル型の簡易なものも有効です。さて、今回は路(道)について、防災の面から少し話したいと思います。道はまちの脈でもあり、交通の利便性はもちろんですが、個人のいろいろな思いがあると思います。幼少の頃からよく知っている道で舗装されたり、幅が広がったり、または周囲にビルが立ち並んだり、その様子は大きく変わったとしても、路(道)においては人は意外と思いついて忘れていないものです。

災害時に緊急車両が通行できなくて災害が広がってしまう、という致命的な原因を取り除くためその道幅を拡げる都市計画を定めているところがあります(杉並区にも)。防災のためには道幅を広げるのは大切ですが、その道が災害時にどのように利用されるべきかなど、日頃の地域の人はその路(道)のことを路地裏も含め想像しながら歩いてみることも大切だと思います。ブロック塀や古い家屋の倒壊がないかなど、安全性を知ることはもちろん、その路(道)をどういう人が利用しているのか、災害時に避難弱者がいらないかなど道を通じて地域を知ることが地域防災につながります。避難所までの路(道)はぜひよく知っておいてください(最近起きた韓国・ソウルの人災、あの事故も道路の認識に甘さがあったと報じられます)。

杉並支部は災害時の共助・協働の担い手として、災害に強いまちづくりにする活動拠点になると思います。10月21日に支部で行われた防災セミナーで、講師の方が強調されていたように、避難所の収容人員の制限や衛生設備などの不足により在宅避難が求められることもあるため、自宅への備蓄(水や食料など)が大切です。みなさまにも平成27年に全戸配布された黄色の冊子『東京防災』も、ぜひ一読して自らの備えを第一に担保してくださいませよう。よろしくお願いいたします。『東京防災』は都防災HPでも公表されています。

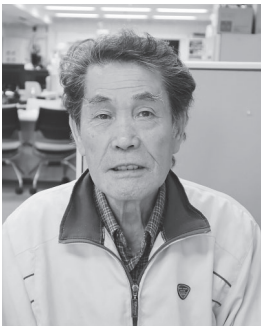


第347回

私は福島県会津若松の出身です。漆塗の工房で5人きょうだいの末っ子として生まれました。「春男」の名前は母・春子から一文ももらって命名されました。豪雪の会津だからこそ雪解けの春への思いも込められていること考えています。

工房といつても父のほか職人は数人。会津漆器ももうかる商売ではなく生活には余裕がありませんでしたが、父は子どもの頃体が弱かった私を休みの時によく山に連れ出して、登山(山菜やキノコ採りも)や川遊びなど、現代では懐かしがられるような野外体験を一通りしてきました。

長男長女は家を継ぎ、他の子は外に出る時代、私も15歳で就職に。知人の縁があつて東京から塗装の親方・荻野さんが迎えにきてくれて杉並区に住み込みで働きはじめました。先輩職人にも学びながら、塗装の仕事覚えていきました。町場



舟窪 春男さん

豪雪のあとに春が来る 青年部時代から組合を

はるお 春男さん 高和・塗装

中心でしたが野丁場にも応援が入つて、いろいろ勉強しました。以後10年以上、荻野さんの下で職人として働きました。仕事では30歳で独立し、35歳の時に姉の紹介で房子さんとお見合い結婚。おかげで2人の娘、2人の孫に恵まれました。苦楽を共に

した妻は10年ほど前に亡くなりましたが、いくら感謝しても足りないと思つています。組合へは18歳のときに現場で知り合った仲間を声をかけられて加入。青年部活動にも参加しました。青年部は野辺さん(野辺秀男・元支部委員長)ら多くの仲間と書記の宮崎さんらが盛り上げていて、楽しく活動で

きました。おかげでうちに33分会時代に高円寺南分会で分会長、13分会体制になったときにも高円寺分会の分会長、支部の常任執行委員も務めさせてもらいました。支部が2,000人から3,000人になるころには拡大行動も大いにがんばったものです。最近仕事は減らし、趣味の映画をテレビで見る機会が増えました。これからも体の動く限り、組合の仲間のためにも活動したいと思つています。

取材 喜多正之



親睦の秋

分会旅行も続々

10.2 泉南分会・三島スカイウォーク



泉南分会は10月2日に36人で静岡方面へ。2019年10月の八景島以来3年ぶりの分会バス旅行。快晴好天に恵まれ、三島スカイウォーク、葦山で反射炉ビアレストラン、その後、中伊豆ワイナリーを巡ってきました。

10.9 阿佐谷分会・秩父長瀬ライン下り

阿佐谷分会は10月9日に25人で埼玉・秩父方面へ。まず長瀬にて、下流で荒川につながる長瀬川のライン下り。意外な激流を楽しみ、小松沢レジャー農園ではシイタケ狩り、バーベキュー、さらにブドウ狩りまで満喫した一日でした。



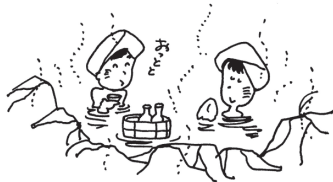
10.23 中央分会・秋川溪谷マス釣り



中央分会は10月23日に33人で秋川溪谷の秋川国際マス釣り場へ。自然の川を活かした釣り場に糸を垂らし、釣り上げたマスをさっそく焼いてのバーベキュー。帰路には道の駅八王子滝山でお土産もしっかり買い、秋の一日を楽しみました。

土建国保のトクトク情報

国内宿泊旅行に補助



土建国保の加入者には1年度に1回、宿泊旅行に3,000円(65歳以上は5,000円)の補助があります。申請用紙は「国保ガイド」についているほか、国保組合のHPからも印刷できます。 ※75歳以上の組合員と配偶者には、組合の共済から宿泊旅行補助があります。

共済給付

10月慶弔傷病見舞金支給 112件

どけん共済は組合員が病気やケガで働けなくなった時の生活を助けたい、結婚や出産、仲間や家族が亡くなった時などに給付されるみんなの助け合い制度です。これまでに多くの仲間が給付を受けています。(敬称略)

- おめでとく
 - 【結婚】 飯田 邦江(富士見)
 - 藍川 真樹(西荻)
 - 山崎 憲(西荻)
 - 林 謙太郎(阿佐谷)
 - 【出産】 飯田 淳史(富士見)
 - 田中 誠人(阿佐谷)
 - 園部 朝海(中央)
 - 狩野 美穂(浜福)
 - 【成人】 山本 淳史(富士見)
 - 【新入学】 森脇 見名(阿佐谷)
 - 【資格取得】 長谷川秀夫(井荻)
 - 高橋ミツヨ(中央)
 - 菅本 忠雄(高和)
 - 【家族死亡】 飯田 邦江(富士見)
 - 水尾 芳子(富士見)
 - 【お悔やみ 申しあげます】 飯田 淳史(富士見)
 - 【本人死亡】 森脇 見名(阿佐谷)
 - 【住宅災害見舞金】 長谷川秀夫(井荻)
 - 高橋ミツヨ(中央)
 - 菅本 忠雄(高和)